

大阪府域における2020年度の温室効果ガス排出量の修正概要について

2023年7月3日に開催した環境審議会気候変動対策部会において、2020年度の廃棄物部門の温室効果ガス排出量が2019年度と比べて増加した原因を詳細に分析すべきとのご意見をいただいたため、分析したところ、算出方法を修正すべき項目があったため、再計算を実施

○廃棄物部門の温室効果ガス排出量の増加原因として、一般廃棄物のプラスチックごみの焼却量が増加したことが一因としていたことから、プラスチックごみの焼却量について詳細に分析を実施

- ・一般廃棄物に占めるプラスチックごみの割合については、市町村の組成分析結果から、府内平均を算出
- ・事業系一般廃棄物について、2020年度は、排出量が多くかつプラスチックごみ割合の比較的低い一部の市の組成分析結果のデータが欠損していたため、例年と比較してプラスチックごみ割合が大幅に高くなっていた。
- ・生活系一般廃棄物については、該当市も組成分析を実施しており、例年と同程度の割合となっていた。

○事業系一般廃棄物の組成分析を実施した他の市町村の結果を確認すると、2020年度は例年と同程度であった。

○事業系一般廃棄物排出量の半分近くを占める一部の市のプラスチックごみ割合が考慮されていなかったことは、経年変化を確認するうえで適切とは言えない。

以上から、該当市の事業系一般廃棄物の組成分析結果の平均値（直近3年間）を考慮に入れて再計算を実施



○事業系のプラスチックごみの焼却量は、前年度と比べて減少し、廃棄物部門全体としても減少。

○生活系のプラスチックごみの焼却量は、前年度と比べて若干増加

○原因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による事業活動の縮小及び在宅時間の増加等が推察される。

一般廃棄物のプラスチックごみ焼却量と廃棄物部門の温室効果ガス排出量の推移

	2019年度	2020年度 (補正前)	2020年度 (補正後)
一般廃棄物のプラスチックごみ焼却量(t)	413,664	473,388	399,498
うち事業系(t)	192,286	245,364	171,474
うち生活系(t)	221,378	228,024	228,024
廃棄物部門の温室効果ガス排出量(万t-CO2)	143	153	132